

## 4．各産業大分類の中での就業者増加産業

### 4．1 製造業

この産業の中では1990年以降1995年にかけて減少に転じたものが多いが、概ね傾向的に増加してきた産業は以下のものである。

(1995年まで増加)

- ・食料品、飲料・たばこ・飼料製造業
- ・出版・印刷・同関連産業

(1990年まで増加、1995年にかけて減少)

- ・衣服・その他の繊維製品製造業
- ・電気機械器具製造業
- ・輸送用機械器具製造業
- ・精密機械器具製造業
- ・その他の製造業

今後は、各産業において生産性が向上していくことなどから、ほとんどの製造業で就業者数は減少し、増加する産業は以下のような産業に限られてくる。

(2010年まで増加)

- ・電気機械器具製造業

(2000年にかけて増加、以降減少)

- ・食料品、飲料・たばこ・飼料製造業

### 4．2 運輸・通信業

この産業の中では1995年にかけて傾向的に増加してきた産業は以下のものである。

- ・道路貨物運送業
- ・航空運輸業
- ・倉庫業
- ・運輸に付帯するサービス業

また、今後増加していくとみられる産業も過去からの動きと同じく、次のものと見られる。

- ・道路貨物運送業
- ・航空運輸業
- ・倉庫業
- ・運輸に付帯するサービス業

### 4．3 卸売・小売、飲食店

この産業の中では1995年にかけて傾向的に増加してきた産業は以下のものである。

- ・卸売業
- ・各種商品小売業、その他の小売業
- ・飲食料品小売業
- ・自動車・自転車小売業
- ・飲食店

今後増加していくとみられる産業も過去からの動きと同じ産業がみられるが、労働力供給の制約を織り込んだ生産性向上があると見られ、増加は産業によってかなり押さえられてくることから、次のような状況で推移すると見られる。

(2000年にかけて増加、以降減少)

- ・自動車・自転車小売業
- ・飲食店

(2005年にかけて増加、以降減少)

- ・各種商品小売業、その他の小売業

(2010年まで増加)

- ・飲食料品小売業

#### 4.4 金融・保険業、不動産業

金融・保険業、不動産業ともに1995年まで増加してきた。今後は、金融・保険業は2005年まで若干増加するものの、以降減少する。不動産業は、将来もわずかずつではあるが増加する。

#### 4.5 サービス業

この産業の中では1995年にかけて傾向的に増加してきた産業は以下のものである。サービス業には就業者数が増加してきた産業が多い。

- ・その他の事業サービス業
- ・医療業
- ・専門サービス業(他に分類されないもの)
- ・情報サービス・調査・広告業
- ・映画・娯楽業
- ・社会保険、社会福祉
- ・旅館、その他の宿泊所
- ・教育
- ・洗濯・理容・浴場業

- ・物品賃貸業
- ・学術研究機関
- ・保健衛生・廃棄物処理業
- ・機械・家具等修理業（別掲を除く）

今後増加していくとみられる産業も人口、労働力供給の推移から2005年を過ぎると減少に転じるものが多い。

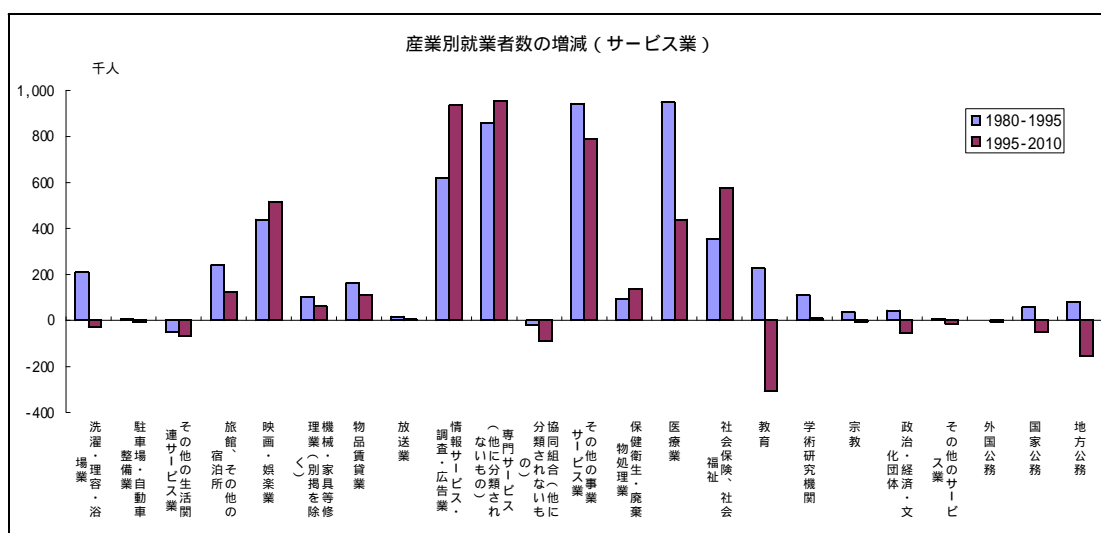
（2005年にかけて増加、以降減少）

- ・洗濯・理容・浴場業
- ・旅館、その他の宿泊所
- ・機械・家具等修理業（別掲を除く）
- ・医療業
- ・学術研究機関

（2010年まで増加）

- ・映画・娯楽業
- ・物品賃貸業
- ・情報サービス・調査・広告業
- ・専門サービス業（他に分類されないもの）
- ・その他の事業サービス業
- ・保健衛生・廃棄物処理業
- ・社会保険、社会福祉

図2 産業別就業者数の増減（サービス業）



資料：総務庁統計局「国勢調査」、予測値は今回作業結果